

新職員の挨拶

相談支援事業所みらい
福本 幸枝

平成30年7月1日入社。これまで、約9年間高齢者の生活支援員として、経験を積んできました。今までの、スキルを何かに役立てたいと思い、相談支援専門員を希望しました。人との関わりを大切に、自分の力が人の役に立てればと思います。宜しくお願いします。



相談支援事業所みらい
田島 友美

平成30年9月3日入社。以前は、保育士と医療事務をしていました。出産後、初めての社会復帰となりました。全くの初心者ですが、やる気だけは人一倍あると自負しています。様々な知識やスキルを身に付け、相談支援員として力を発揮していきたいと思っています。宜しくお願いします。



ヘルパー募集中

- 業務内容：障がいをお持ちの方への支援
 - ・ガイドヘルパー
 - …外出支援（特に土・日・祝）
 - ・ホームヘルパー
 - …自宅での入浴・通院の付添い等
- 時給：1,200円～（身体介護伴わない）
1,300円～（身体介護伴う）
※交通費、資格手当など支給有り。
- 资格条件：ホームヘルプ2級以上
介護職員初任者研修修了者
- その他：月1回の勤務でも可

まずはお気軽にお電話ください☆

住所：豊中市桜塚4-8-13 ミレ桜塚4F

TEL：06-6853-1200

担当：中村、中江



ご寄附

- ・ご家族・・・ ¥3,000-
- ・木下サーカス株式会社・・・
入場券 30枚
- ・大阪青果卸売協同組合・・・
みかん4箱

ご支援ご協力に

心より感謝いたします。

編集後記

今年で今まで慣れ親しんできた「平成」の元号が終わります。「平成」には「内外、天地ともに平和が達成される。」との意味があるそうです。新たな元号に変わったとしてもこれから「平成」の持つ意味、平和が成った日々が守られ続けしてほしいですね。



支援センターみらい通信 vol.17

編集・発行	住所
社会福祉法人 豊中親和会 支援センターみらい	〒561-0807 豊中市原田中1-14-20
発行人	TEL/FAX
中村 文俊	TEL：06-6853-2400 FAX：06-6853-2401

新年のご挨拶

センター長 中村 文俊

新年明けましておめでとうございます。皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしております。

昨年、豊中親和会の皆様や各方面の方々には、大変ご心配をお掛け致しまして、本当に申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。

今年は平成最後のお正月。皆さまいかがお過ごしだったでしょうか。平成生まれの豊中親和会と致しましては、少し寂しさは残りますが、又、新しい元号の生まれる年です。この記念すべき年の初めに、今年こそ皆の夢を皆様と一緒に、もう一歩前進したいと思っています。

昨年は、大阪北部地震や台風21号による甚大な被害により、生活が脅かされた一年でした。

今年もご利用者の方々の一層の安全・安心と潤いのある生活に向けて、職員一同、決意も新たに取組んで参りますことと申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

当法人は、障害者（知的障害）を主とした取り組みをすすめている法人であり、その一つであるGH事業は、介護が可能な施設整備の必要性、在宅においても65歳以上の障害者の増加、増加する親亡き後の障害者問題などどう対応するか私たちの中で深刻な問題です。昨年度まで当法人も地域の方々の協力を得ながら整備をすすめてまいりましたが、

障害者を支援できる職員不足に泣かされた1年でもあったと思います。今年は、障害者の人権擁護と共生社会を目指す法人にとってはまだまだ人材不足と育成が課題であります。この課題に向けて法人内組織である「虐待防止委員会」が研修制度の設定による育成計画、人権擁護の具体的な取組計画を確実に実施しながら全力投球していきたいと思っております。本年もご利用者の方々の一層の安全・安心と潤いのある生活に向けて、職員一同、決意も新たに取組んで参りますことと申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



“グループホーム 良か余暇？”

グループホームでは日々の生活を大切にしながらも、楽しく過ごせるようにいろいろな取組（余暇活動）も行っております。ホームによってさまざまですが、誕生日のお祝いや季節を感じる内容としてクリスマスや節分を行ったりしています。

今回、12月に行ったクリスマスや誕生日のお祝いをしたホームの写真を載せさせていただきます。



職員が皆さんからどのような事をしたいか、食べ物や飲み物をどうするかを聞いたり思っている事を感じ取ったりして部屋の飾り付け、ケーキなどの用意をしたりしています。当日は、皆さん楽しく過ごしてくれていました。

日々の生活同様、こういった取り組みも大切にしたいと思っています。



“グループホーム取材されました”

障がいについての理解を深める事を目的として、複数の事業所と豊中市が連携してグループホームの紹介ビデオを作成しました。グループホームでの生活や、日中の過ごし方を紹介しています。今回、ホーム内での生活の様子と支援員のインタビューを豊中親和会が担当しています。豊中市のホームページで閲覧できます。よろしければご覧ください。



豊中市ホームページ
「市政情報」→「広報」→「とよなかチャンネル」
→「くらし彩り」

ヘルパー連絡会開催！！

昨年11月10日に豊中市福祉会館にて、あしすと恒例の「ヘルパー連絡会」を開催いたしました。今回は土曜日の夕方開催という事もあり、参加者は職員を含め20名。福祉会館のいつもお借りしている部屋の定員が、ギリギリセーフでした。連絡会の内容としては、「障害者虐待の防止と対応マニュアル」の説明が主でしたが、たくさんのヘルパーさんに参加頂き、支援に対する意識の高さが伺えました。

また、今年度は、連絡会とは別に、利用者さん個別に関わっているヘルパーさんに集まって頂き、「事例検討会」を開催いたしました。支援で工夫している事を共有し合ったり、悩んでいる事を話し合う事が大きな目的です。

GHみらいの職員にも参加してもらい、ヘルパーさんと過ごす休日の利用者さんの様子を伝えながら、ヘルパーさんからの質問に答えられました。

これからの支援に役立つ有意義な会になったと思いますので、予定回数に関わらず、必要に応じて開催していきたいと思っています。



『相談支援事業所みらいは、中部エリア会議に参加しています！』

昨年度より、豊中市障害者基幹相談支援センター主催で“エリア会議”が開催されています。“エリア会議”の目的の一つは、地域にお住いの当事者やご家族の困りごとを一人の相談員だけでなく、みんなで考える事です。

主催している豊中市障害者基幹相談支援センターは、北部・中部・南部のエリア別に相談員さんが配置されています。その各エリアの基幹相談支援センターの相談員さんが中心となって、各エリアの委託相談支援事業所、指定相談支援事業所と一緒に会議を持っています。

『相談支援事業所みらい』は、委託相談支援事業所として、中部エリア会議に参加しています。今年度は、4回の開催予定です。第3回目には、当事者やご家族の方にも参加して頂き、『親子後』について考えました。当事者の心配事、ご家族の心配事、相談員の心配事から課題をまとめ、解決策を検討しました。相談員だけで考えている時とは違う、様々な意見がたくさん挙がりました。その中には、今すぐにはできないけれども、実現してもらいたい仕組みなどもいくつか挙がり、これが地域課題だと思いました。地域課題を意識していく事も、相談員として大きな役割だと、改めて感じました。

